

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	837,156,021
負債 (b)	430,496,133
基本金 (c)	194,749,522
国庫補助金等特別積立金 (d)	35,459,123
合計 (a - b - c - d)	176,451,243

- 手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。（不明の場合は、記載要領に従って入力してください）
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	639,502,969
--------	-------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	34,298,000
1年以内返済予定リース債務	0
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
設備資金借入金	198,582,000
リース債務	0
合計 (b)	232,880,000

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	639,502,969
対応負債合計 (b)	232,880,000
対応基本金 (c)	194,749,522
国庫補助金等特別積立金 (d)	35,459,123
合計 (a - b - c - d)	176,414,324

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設準備等上昇率				自己資金比率			合計額	
						①建設工事費 デフレーター	②1m当たり単価上昇率		①、②のいずれか 高い方の率	③一般の自己 資金比率	④建設時自己資金比率			
							一般の1m当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)			建設時延べ床 面積 (c)	a/ (b/c)		建設時自己資金 (d)
建物	1999				451,616,338	1,346	290,000	748,366,100	-	1,346	24%	-	24.0%	145,890,141
合計														145,890,141

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	337,727,260
----	-------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	145,890,141
大規模修繕に必要な費用	41,188,289
設備・車輛等の更新に必要な費用	337,727,260
合計	524,805,690

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	683,924,503	12	3	170,981,125

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	-	12	12	-

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	176,451,243	872,201,139	※「5. 計算の特例」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択すること。
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	176,414,324		
再取得に必要な財産	524,805,690		
必要な運転資金	170,981,125		
計算の特例	-		
合計	-695,740,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」」

項目	金額
社会福祉充実残額	-695,740,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-695,740,000

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ( (a×b) × c / (a+c) )	
451,616,338	23%	-	-	296,749,762	41,188,289	41,188,289
						41,188,289